

避難所一覧

No.	避難所名称	住所	電話番号
1	中根小学校	中根1863	272-2742
7	前渡小学校	馬渡309	272-6443
19	旧磯崎小学校	磯崎町4598	
22	勝田第三中学校	馬渡2982	272-5215
27	阿字ヶ浦ふれあい交流館	阿字ヶ浦町610	
30	勝田中等教育学校	足崎1458	273-7411
33	茨城工業高等専門学校	中根866	272-5201
39	前渡コミュニティセンター	馬渡2980-1	274-7727
51	総合体育館(総合運動公園)	新光町49	273-9370

※避難については、市の避難所開設状況を確認し避難してください。

ひたちなか市 内水ハザードマップ

北東版

ハザードマップについて

近年の局地的豪雨等により、浸水被害の発生が想定される範囲や避難場所などの情報を提供するとともに、防災意識の向上、浸水に対する備えに活用していただくために「ひたちなか市内水ハザードマップ」を作成しました。

この内水ハザードマップは、国土交通省が公表している関東地域想定最大降雨量である時間雨量153mmを想定して、その浸水範囲と深さを示したものです。浸水範囲と深さは、地盤の標高データを使用し、浸水シミュレーションにより想定しています。

想定される浸水は、雨の降り方によって拡大する場合や浸水範囲ではない場所(表示のない場所)でも浸水が発生する場合があります。

気象情報や近辺の状況に注意し、日頃の準備・心構えとしてご利用ください。

想定最大規模降雨 153 mm/hr

この地図の表示範囲

作ってみよう! マイ・マップ

- 自分の家から避難所までの道のりを書き入れて「マイ・マップ」を作ろう!
- 地図の国・県道や主要な道路を参考にどの道を通って避難するか家族と相談してみよう!
- 「マイ・タイムライン」とあわせて自分たちのハザードマップを完成させよう。
- 台風時期や大雨が降りそうな時には、作成した「マイ・マップ」、「マイ・タイムライン」を常に見直しましょう。

私たちの避難所

水害時における避難行動の考え方

自宅周辺が浸水エリアに入っていますか?

はい → **避難** (事前に敷地内や建物の浸水対策を整えましょう。2階以上の建物であれば上階へ避難しましょう。(垂直避難))

いいえ → **屋内待機** (敷地内に浸水することや、建物の形状によっては屋内に浸水する可能性もあるため情報収集を心がけましょう。)

避難のめやす(マイ・タイムライン)

災害時に自分のとる行動「マイ・タイムライン」を作成し避難のめやすとしましょう。

天気の状態・気象情報	行動の例	マイ・タイムライン
①日頃からの備え	非常用持ち出し品や備品の準備・避難所の確認	
②大雨に備えた準備	雨水ますの清掃・浸水対策の準備	
③台風・大雨の予報	テレビ・ラジオ・インターネットなどで情報を確認・家族の予定確認	
④大雨警報・注意報	避難に向けた非常用持ち出し品の用意・避難の開始	
⑤冠水が始まり外が危険な場合、逃げ遅れたとき	建物の高いところに避難する 垂直避難	

マイ・タイムラインとは?

「マイ・タイムライン」は、台風や集中豪雨などの大雨によって浸水被害が発生する恐れがある時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、とりまとめる行動の計画表です。

急な判断が迫られる浸水発生時に、自分自身の行動のチェックリスト、また判断のサポートツールとして役立ちます。

自分の家族構成や生活環境にあった避難に必要な情報・判断・行動を把握してマイ・タイムラインを作成し、「自分の逃げ方」を手に入れましょう。

水害はマイ・タイムラインで想定したとおりに行進するとは限りません!

- 水害によって異なります**
 - 雨の降り方
 - 内水ハザードマップの浸水範囲、浸水深
- 水害に応じて避難応変に発表・発令されます**
 - 気象情報の発表
 - 避難情報の発令
- 水害に応じて避難応変に対応しましょう**
 - みなさんの事前の備えが大切です。

マイ・タイムライン使用時の心得

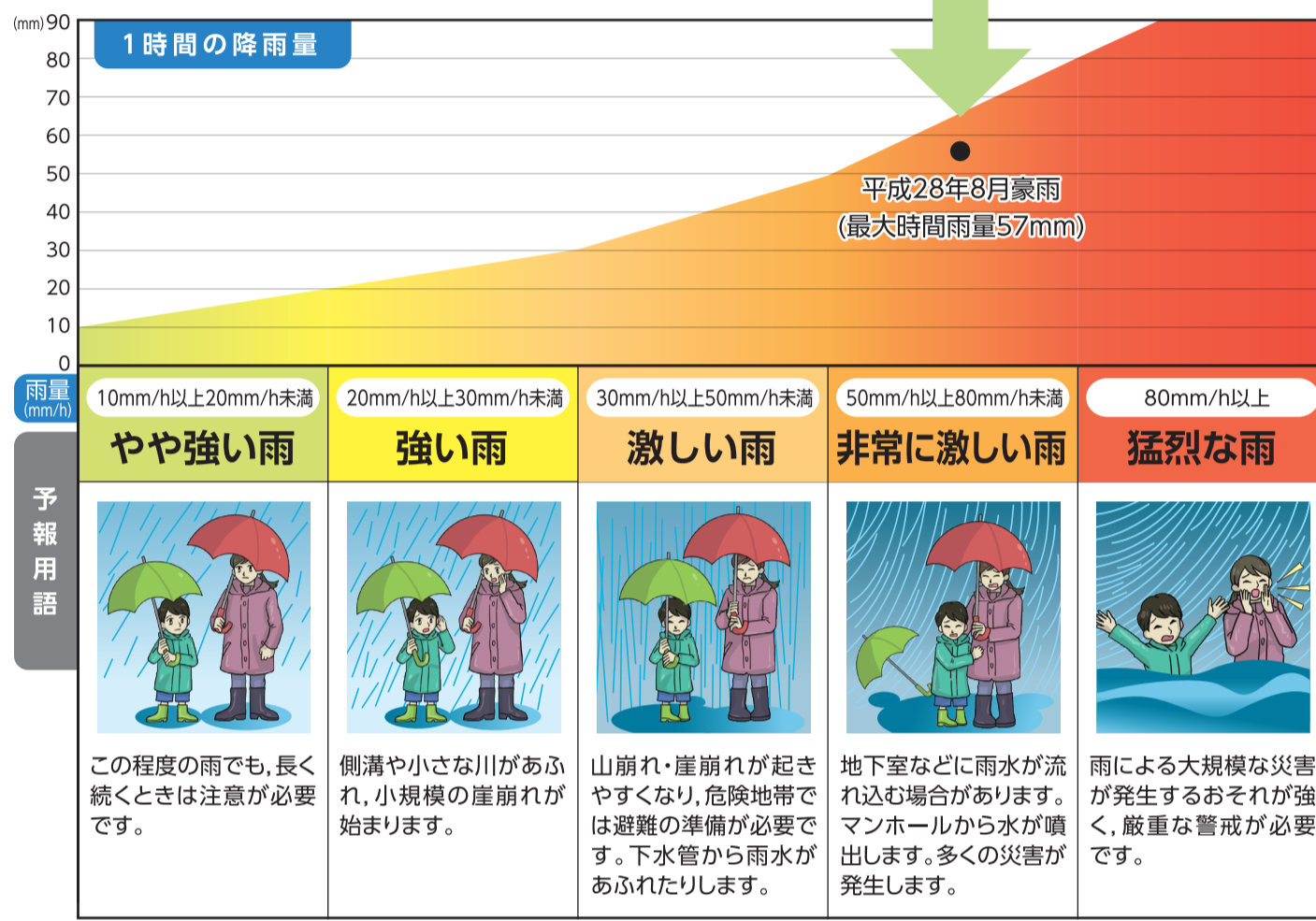
- 心得1** あくまで行動の目安として認識する。
- 心得2** 気象情報や避難情報等をこまめに収集・確認する。
- 心得3** 収集・確認した情報をもとに、マイ・タイムラインを参考にして、避難応変に防災行動の実行を判断する。

平成28年8月23日の豪雨災害における被害状況

- 平成28年8月23日の豪雨では、最大時間雨量57mmの降雨が記録され市内各所で浸水被害が発生しました。
- 特に浸水被害が大きかった高場・稲田・大島・田彦地区などでは、「床上浸水24戸」「床下浸水149戸」の家屋浸水が発生しました。

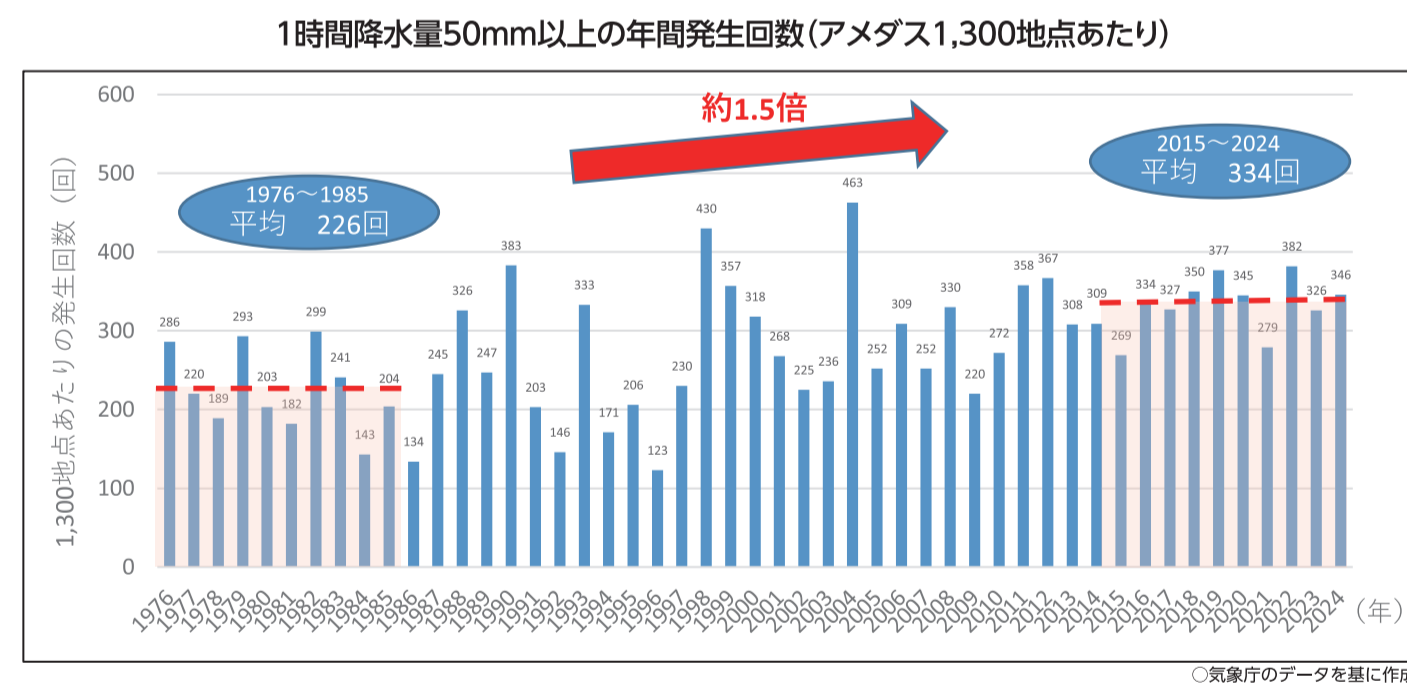


雨の降り方と災害の関係

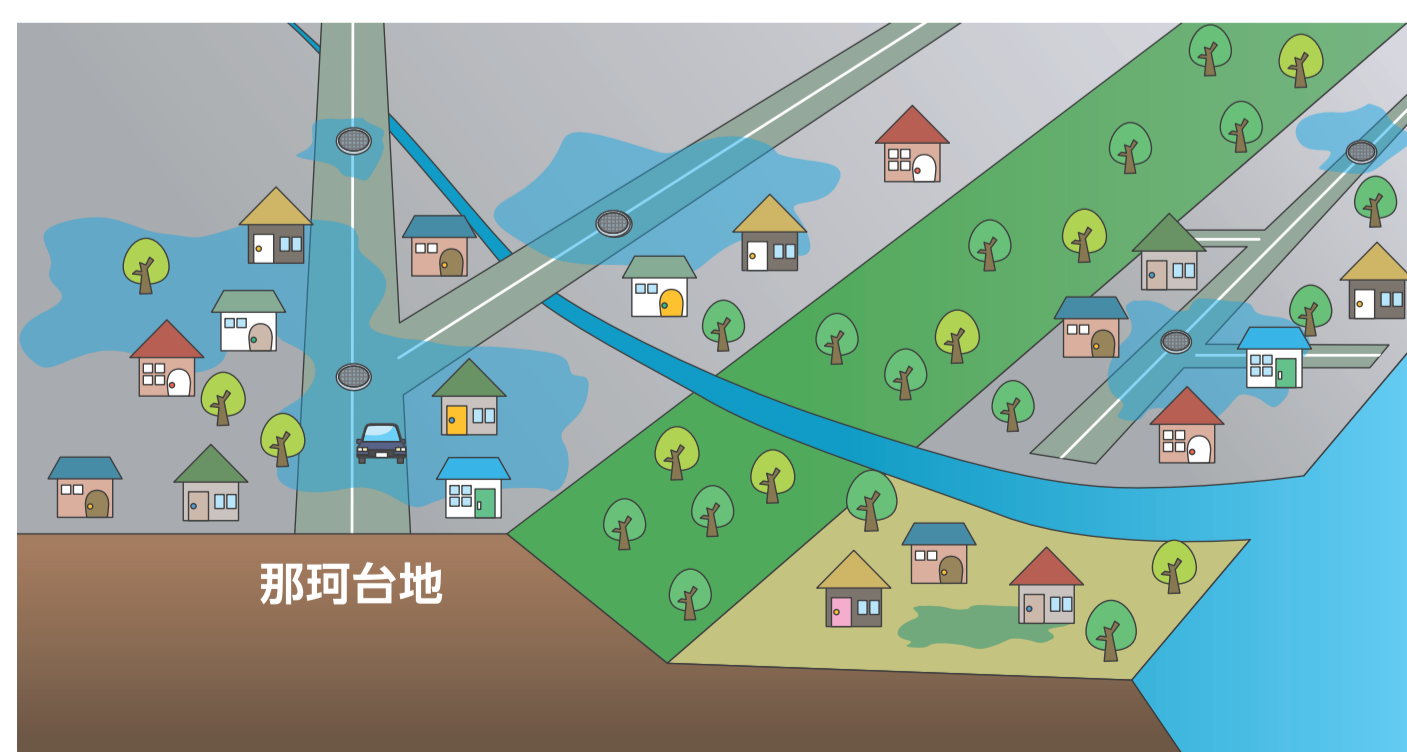


雨の降り方の変化

- 全国の1時間降水量50mm以上の年間発生回数は増加しており、最近10年間(2015~2024年)の平均年間発生回数(約334回)は、統計機関の最初の10年間(1976~1985年)の平均年間発生回数(約226回)と比べて約1.5倍に増加しています。
- 気候変動の影響により、水害のさらなる頻発・激甚化が懸念されています。



ひたちなか市の内水氾濫イメージ



- ひたちなか市は、那珂台地の平野部に住宅地が多く存在しています。そのため、平坦な地形であるため開発しやすい反面、水はけが悪く集中豪雨等で冠水しやすい特徴があります。

日頃の準備

Check

1 非常用持ち出し品の一例

<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> 歩きやすい運動靴、スリッパ	<input type="checkbox"/> 乾電池、モバイルバッテリー	<input type="checkbox"/> マスク
<input type="checkbox"/> 水	<input type="checkbox"/> 非常食	<input type="checkbox"/> ヘルメット	<input type="checkbox"/> 救急セット	<input type="checkbox"/> 手指消毒用アルコール
<input type="checkbox"/> 貴重品	<input type="checkbox"/> ウエットティッシュ	<input type="checkbox"/> 紙おむつ	<input type="checkbox"/> 軍手	<input type="checkbox"/> せっけん、ハンドソープ
<input type="checkbox"/> 衣類・下着、雨具、タオル	<input type="checkbox"/> 笛	<input type="checkbox"/> 口腔ケア用品	<input type="checkbox"/> 持病の薬・お薬手帳	<input type="checkbox"/> 体温計

Check

2 「備蓄品」を準備

大災害時などは、水や食料などの支援物資が不足する事態も想定されます。最低でも3日、可能な限り1週間分を準備しましょう。

<input type="checkbox"/> 水や食料 (最低3日分) × 家族の人数分	<input type="checkbox"/> 生活用品 (トイレットペーパー、カセットコンロ、)
--	--

避難所での感染リスクを減らすための感染対策にご協力をお願いします。

情報はどこから収集するの？

防災に関する情報は、テレビ・ラジオのほか、インターネットからも収集できます。下記の一覧を確認し、最新の情報を入手し避難行動の参考にしてください。

- 気象情報や河川に関する情報**
 - 気象庁**
天気予報、雨量レーダー、気象警報等を確認できます。トップページの「防災情報」から各地に発表中の警報等や、「地域の情報」から天気予報等を見ることができます。
<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>
 - 茨城県土木部 雨量・河川水位情報**
茨城県が設置する雨量計・水位計・河川監視カメラの情報が確認できます。
<https://kasen-pref.ibaraki.jp/>
 - 茨城県防災・危機管理ポータルサイト**
県内の地震情報・降水量・河川水位などが確認できます。
<http://www.bousai.ibaraki.jp>
 - 茨城県防災情報メール**
気象警報、土砂災害警戒情報、地震、津波情報などが配信されます。
<http://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukankyo/bousaikiki/bousai/mail/bosa.html>
 - ひたちなか安全・安心メール**
防災行政無線の内容(防災情報を含む)などすべての放送内容のほか、防災情報が配信されます。ケータイからも登録できます。
<https://www.city.hitachinaka.lg.jp/zatoutoki/2/4/9503.html>
 - 防災アプリ**
茨城県とひたちなか市では、ヤフー株式会社「Yahoo防災速報」を活用した災害関連情報の提供をしています。
App Storeからダウンロード | Google Playからダウンロード
 - NHK総合テレビデータ放送**
地上デジタル放送(データ放送)では、気象情報や河川水位情報がわかりやすく、リアルタイムに確認できます。

防災お役立ち情報

防災情報を集める3

市ホームページに避難所一覧などの情報を掲載しているほか、ひたちなか安全・安心メールや市公式Xでは、災害時に被害状況や避難所情報などを発信しています。

地域の災害リスクの再確認

地震時や大雨時など危険を感じたときは、早めの避難が必要です。洪水ハザードマップ、土砂災害ハザードマップ、防災マップを活用して、自分自身の避難計画「マイ・タイムライン」をあらかじめ作成し、避難所の場所や経路、避難時の所持品などを家族で再確認しましょう。

警戒レベル相当情報・気象防災速報・気象解説情報

警戒レベル相当情報	大雨	土砂災害
警戒レベル5相当	大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報
警戒レベル2	レベル2 大雨注意情報	レベル2 土砂災害注意情報
警戒レベル1	早期注意情報	

警戒レベル相当情報が出たときは、下記の表の対応する警戒レベルを参考に避難行動をとってください。

避難判断の基準(警戒レベル等)

警戒レベル5	緊急安全確保	安全な避難ができず命が危険な状態です。屋外への非難が困難な場合は、垂直避難等の命を守る最善の行動をとります。
警戒レベル4	避難指示	速やかに危険な場所からの非難を行います。避難先は近くの指定避難場所を基本としつつ、安全な地域にある親戚・知人宅等も検討します。
警戒レベル3	高齢者等避難	避難に時間がかかる方は早めの非難をします。そうでない方も予定を見合わせるなど、情報収集や避難準備を始めます。
警戒レベル2	注意報	今後に備え、こまめにニュース等を見る、避難時の非常用持ち出し袋の確認などを行います。
警戒レベル1	早期注意情報	災害への心構えを高めましょう。

※警戒レベルは必ず順を追って出るものではなく、気象状況が急変した場合などは即時高いレベルの発令となることがあります。

避難する時の注意点

- 正確な情報収集及び近隣住民との情報の共有を行い自主的な避難をしましょう**
テレビ・ラジオ・インターネットなどで最新の気象情報や避難情報などの災害情報を入手しましょう。入手した情報は近隣住民と共有し、雨の降り方や浸水の状況に注意して、危険を感じたら早めに避難することを心がけましょう。
- はき物**
素足、長靴は禁物です。ひもで締められる運動靴を履きましょう。
※長靴は水が入ると重くなるため歩行の障害となります。
- 避難するときは**
動きやすい服装で、なるべく集団での避難を心がけましょう。
- 高齢者などの避難に協力を**
高齢者や子供、病人、障害のある人などの避難に協力しましょう。
- 車での避難は危険**
避難指示や水害発生後の車での避難は、緊急車両の通行の妨げや渋滞、浸水により車が動けなくなる恐れもあり危険です。やむをえない理由で車を使用する時は早めに避難しましょう。
- マンホールや側溝に注意**
移動時はマンホールや側溝に注意しましょう。
- 無理せず周辺の安全な建物へ**
浸水深が50cm以上になると、避難の際に危険が伴うことがあります。無理せず、周辺の安全な建物に避難しましょう。

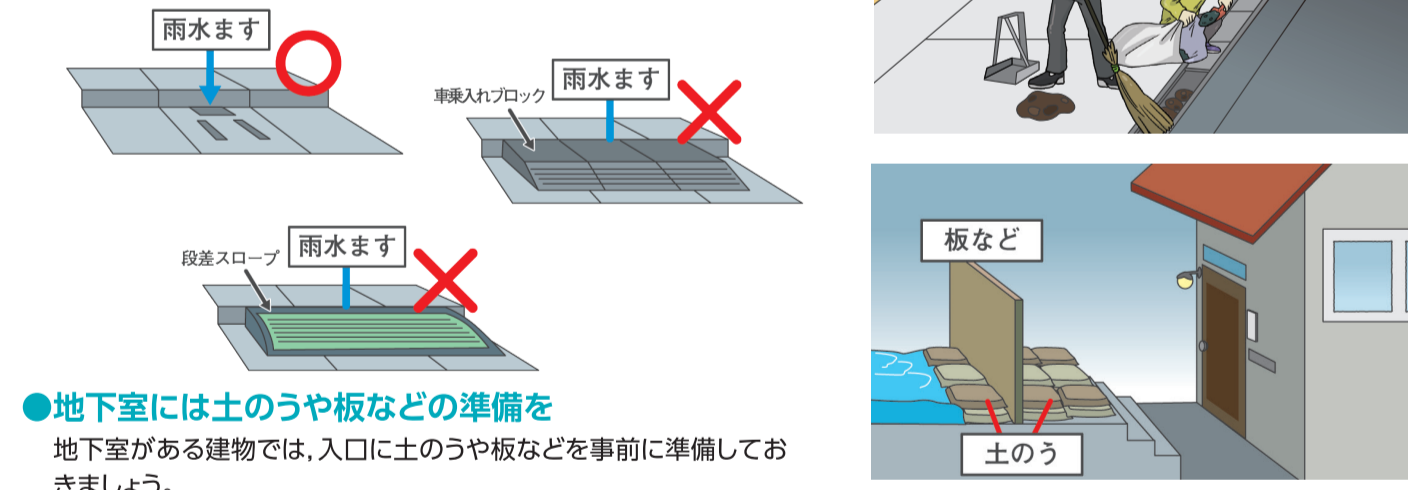
内水被害における対策・対応

●家庭でできる浸水対策

浸水による被害を最小限にとどめるために、日頃からの備えと対策が大切です。もしもの時の役割や連絡方法を家族や地域で話し合っておきましょう。

●雨水す周辺清掃

雨水ますの排水口に落ち葉やゴミが詰まると、道路冠水や浸水の原因になります。雨水ますの清掃にご協力をお願いします。



●地下室には土のうや板などの準備を

地下室がある建物では、入口に土のうや板などを事前に準備しておきましょう。

●ご家庭での雨水貯留、浸透施設の設置を

宅地内に降った雨が地面にしみこむように、ご家庭での雨水貯留・浸透施設の設置にご協力をお願いします。

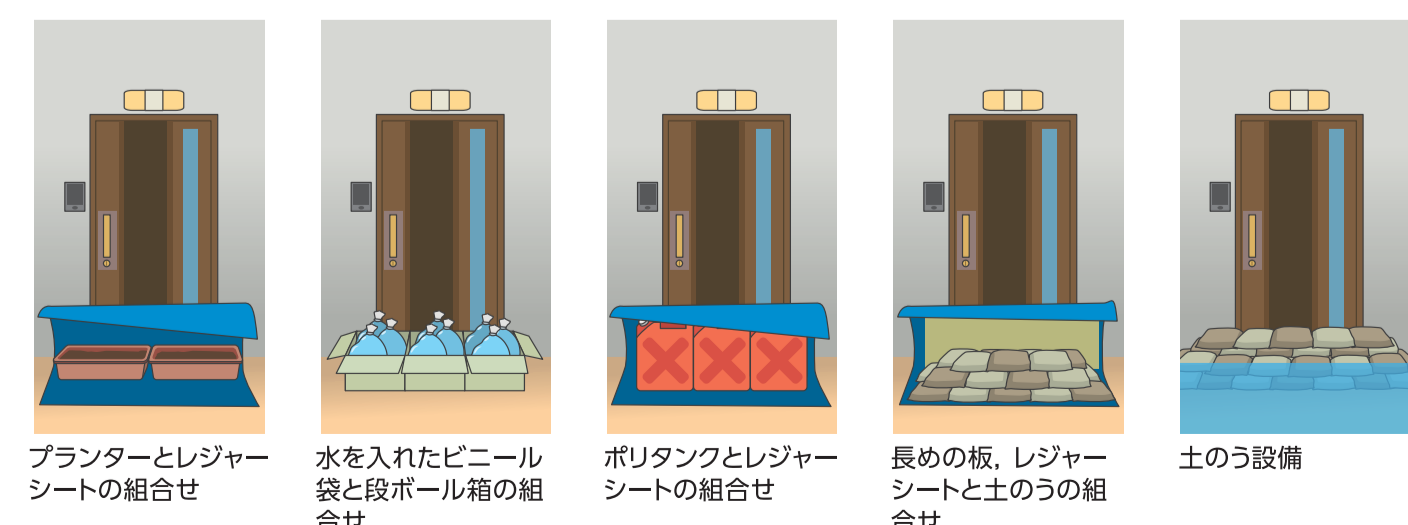
●大雨の時は排水を控えて

洗濯や風呂の排水は、雨がやんでからにするなどの配慮をお願いします。

●洗濯機、風呂、トイレなど意外な場所からの浸水に注意を

水害時には、洗濯機やお風呂の排水口やトイレなどから下水が逆流することがあります。水のうで塞ぐなど対応をしましょう。

浸水を防ぐために土のうなどを置くことが有効です。浸水に備えて準備しましょう。



●危険箇所

- ⚠ **水路周辺**
水路には、ガードレールなどの柵がない場合があります。冠水時には、水路の場所が分からず誤って流される恐れがありますので、近づかないようにしましょう。
- ⚠ **坂道(勾配のある道路)**
坂道は、大雨により川のような流れになります。坂道の通行は十分注意してください。
- ⚠ **アンダーパス**
地下道や地下歩道などの低い場所には、大雨時には周辺から水が流れ込んで冠水する恐れがあり危険です。近づかないようにしましょう。

●内水に対する心構え

- 「自助」… 自ら守る行動
- 「共助」… 地域や身近にいる人同士が助け合う行動
- 「公助」… 国や地方公共団体による行動

早めの避難を心がけましょう

浸水してからの避難は危険です。雨や河川水位などの情報を事前に隣近所に声をかけ、集団での避難を心がけましょう。

ご近所に声をかけましょう

単独での避難は思わぬ事態にあつたときに危険です。避難する前に隣近所に声をかけ、集団での避難を心がけましょう。

避難所では互いの気遣いが大切

避難所では、多くの方が一定期間滞在します。他人に不快を感じさせないよう、お互いの気遣いが大切です。避難所では、他人任せにせず、自分でできる範囲で運営に協力しましょう。